



学校だより

おおとり

横浜市立大鳥小学校

令和2年2月4日 発行

2月号

大鳥小

検索

【大鳥小学校Webページ】

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/sch/es/ohtori/>

学校教育目標

〒231-0806 中区本牧町1-251

学校長 水島 貴志 TEL 621-7700

はばたく子

◆やさしい子

◆たくましい子

◆かしこい子

スタンダードと個性

副校長 正木 俊行

年度末が近づき、職員も児童も来年度の所属が気になりだしてきました。本校でも学年によってクラス替えがあったり、担任が替わったりするので、年度末をドキドキしながら過ごす児童もいると思います。実は、我々もドキドキします。異動はあるのか？ 次の学校はどんな学校だろう？ 異動先の校長や職員はどんな人達だろうか？ 子ども達はどんな感じだろう？ 保護者や地域はどんな雰囲気だろう？ など期待と不安でいっぱいになります。また、異動後は同じ横浜市立小学校とは思えないほど、いろいろな取組やルールや指導の重点が違って、数週間は戸惑うことばかりです。

子ども達のクラス替えや担任交代に伴う上述のような混乱を軽減するために、数年前から学校スタンダードという取り組みをする学校が出てきました。学校全体で約束やルールを統一することで、子ども達を取り巻く環境変化の負担を減らし、教師も指導を統一して、どの先生の指導も同じようにしていこうというものです。

自分が担任していた頃にも、学校スタンダードという言葉は出始めていましたが、自分はいあまり取り組みたいとは思っていませんでした。勿論最低限の常識的なルールは必要（本校でも実は最低限のルールを取り決めた「学校のきまり」というものをつくっており、「大鳥小教育プラン」の中に掲載して各家庭に配付しています。）でしようが、過剰な統一は、個性の伸長に悪影響を及ぼし、自分の考えと違うものを排除したり、攻撃したりすることに繋がりがねないという側面も持っていると思っていたからです。

つい最近、十数年ぶりに以前他校で受け持っていた卒業生から同窓会の誘いがあり、参加させてもらいました。そのとき、当時の私の口癖が、その会で話題になりました。その口癖は、「他のクラスは、他のクラス、6-1は・・・」

というものだったそうです。これを私が言うと、クラスのみんながため息交じりの声で「6-1・・・。」という流れをつくり、当時の子ども達が、「2組は、あんなことしているよ。」「3組は、今度こうするんだって。」という要求をことごとく打ち砕いていたそうです。そして、6-1は2組とも3組とも違う取り組みをして、6-1ならではの思い出をつくっていました。因みにこの同窓会は学年全体に呼びかけて集まっていた。活動やルールや取り組みに独自性があった学年でしたが、他クラスの良いところも、自分のクラスの良いところと同じくらい認めていたからでしょうか？ 当時の子ども達はクラスを越えて、とても仲が良かったです。

(次ページへ)

(前ページから)

そんな話を聞いて思い出したのは、私とその学校を離任するときに前年度まで担任していた児童が読んでくれた別れの言葉の作文でした。

以下、一部抜粋。

「正木先生は、僕たちに、『新しいクラスになったら、絶対に、正木先生はこうしていた。4年2組ではこうしていた。正木先生、4年2組の方が良かった。と言っ
はいけません。』と言っていたので、お返しします。正木先生も新しい学校に行っ
ても、〇〇小学校はこうだった。〇〇小学校の方が良かった。4年2組の方が良
かったと言わないように、がんばってください。」

まさか、こんな別れの言葉を全校児童、職員、保護者、地域の皆様が集まって下さった
離任式で言われるとは思わなかったので、思わず苦笑してしまいましたが、同時に誇らし
くも思いました。この言葉は、年度末に自分が受け持っていたクラスに必ず伝えていたこ
とです。少し補足を加えると、ただ、前の方が良かったと愚痴をこぼすのではなく、新し
い仲間と新しい関係を築いて行ってほしい。もし、昨年度までのやり方が良いと思うこと
があったら、きちんとクラスのみんなに提案してみんな考えてほしいということを伝えて
いました。他のクラスには、自分たちと同じように慣れ親しんだ自分たちが良いと思う
ルールや決まりがあるので、みんながそれぞれ良いと思う方法を出し合い、更に今の自分
たちに合った良い方法を作り上げてほしいということを伝えていました。

学校によっては、毎年クラス替えを行い、子どもによっては、毎年担任が替わる経験
をしている児童もいるかもしれませんが、私はその都度いろいろな経験をして行ってほしい
と思います。時には、自分には合わないクラスの雰囲気やルールや取り組みに出会うこと
もあるかもしれませんが、今までの経験を生かして、その環境を改善していく努力がで
きる人間になってほしいと思います。あまりに細かい学校スタンダードがあると、こうした
困難に出会わない反面、それを解決していく機会も奪っていることになるのではないで
しょうか？ 皆さんは、どう思われますか？

「伝えよう」の活動

【ねらい】

- ◎自分自身をふりかえり、今までやってきた活動の中でつけた自信や自分の成長、それを支えてくれた人たちの存在に気づく。
- ◎決意や感謝の気持ち・メッセージを伝えることで、次の学年への思いを高める。

この「伝えよう」の活動を、2・3月の授業参観にしています。学年ごとに実施日時も違い、発表場所についてもいろいろな場所が計画されています。子どもたちの活動の様子をご覧ください。

なお、普段の授業参観と同様に、校内では名札着用です。上履き・靴袋もご用意ください。

6年…▶5年

2月17日(月) 5・6校時
1時40分～ 体育館

- 5年生に向けて、6年生としてどんな場で活躍するのか、そして最高学年として、どんな思いを大切にして全校をリードするのかを伝えます。



- 小学校生活6年間で、様々な行事や日々の生活を通して成長してきました。これまで活動をあたたかく支えてくださった保護者・地域の方々や教職員に、感謝の気持ちと自分たちの成長を伝えます。



6年 ▶ 保護者
地域
教職員

3月3日(火) 6校時
2時30分～ 体育館

はばたきますの会

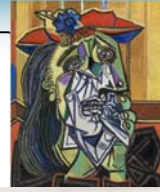
「伝えよう」の活動

たんぽぽ級

▼ 中区の友だち
▲ 全校・保護者

2月 4日 (火) 西公会堂
2月18日 (火) 8時20分～
体育館

●今年もたくさんのお名画と出会い、
2枚の作品から想像を膨らませ、
歌を作りました。
「たんぽぽびじゅチューン! 2」
をお楽しみに。



5年 → **4**年

2月19日 (水) 3・4校時
10時40分～体育館

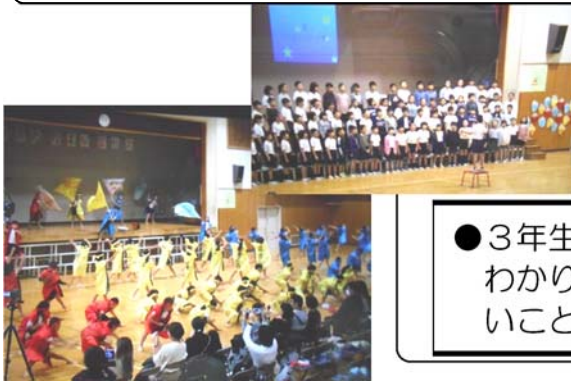
●4年生に向けて、5年生での活動の見通しや、高学年としての
共に活動していく意気込みを、工夫して伝えます。



4年 → **3**年

2月20日 (木) 3・4校時
10時40分～ 体育館

●3年生が自信をもって4年生の生活を送ることができるように
わかりやすく伝えます。また、4年生になって大切にしてい
たいことを私たちの経験をもとに話します。



3年 → **2**年

2月21日 (金) 3・4校時
10時40分～ 体育館・各教室

●2年生が3年生になるのが楽しみになるように、
3年生の学習や行事を、わかりやすく伝えます。



2年 → **1**年

2月25日 (火) 3校時
10時40分～各教室

●2年生で学習したことや感じたことを
1年生に分かるように楽しく伝えます。

1年 → 幼稚園児
保育園児

2月27日 (木)
10時00分～体育館・教室

●入学したら小学校で学習することを、
幼稚園や保育園のお友達と一緒に、
楽しく体験しながら伝えます。

